



「直虎柄」遠州綿紬

静岡文化芸術大生

女子の感性で新商品

静岡文化芸術大（浜松市中区）の女子学生が地元企業と連携して遠州綿紬（つむぎ）の魅力発信に取り組み「つむぎ女子プロジェクト」の活動発表会が18日、同大で開かれた。2016年度プロジェクトに携わる1、2年生16人が新商品や1月下旬から始まる遠鉄百貨店での販売活動について紹介した。

（浜松総局・井沢泰斗）

遠州綿紬を使った新商品を紹介する女子学生
 〓浜松市中区の静岡文化芸術大

25日から販売 地元企業と連携 6種

プロジェクトは、伝統の織物に若い女性の感性を取り入れ、産業の活性化につなげようと15年度に始まった。本年度のメンバーは昨年4月から、和柄の選定や井伊直虎をイメージした「直虎柄」の制作に取り組んだ。織物卸業のぬくもり工房（浜北区）の協力で、買い物用のマルシェバッグや花巾着など6種類を完成させた。

1月25日～2月14日に同百貨店で販売し、会員制交流サイト（SNS）や学内での発信にも力を入れる。

マーケティング担当チームのリーダーを務めた文化政策学部2年の黒田牧子さん（20）は「働く女性にも子育てママにも、日常的に使ってもらえるような商品を意識した。和柄は地味なイメージがあるが、使い方によってかわいくなるものだ」と話した。